



植物を編む

—暮らしの中の編組—

Plant fiber weaving ~Weaving for daily life~



2017.12.2 sat. ~ 2018.4.8 sun.

〒010-0124 秋田市金足鳩崎字後山 52 TEL018-873-4121 FAX018-873-4123

休館日 月曜日(休日と重なったときはその次の平日)

観覧無料

年未年始(12月28日~1月3日)

開館時間 9:30~16:00(4月1日からは16:30まで)

ホームページは『秋田県立博物館』で検索

このイベントは
宝くじの収益金
の一部で実施さ
れています。
秋田県

AKITA PREFECTURAL MUSEUM
秋田県立博物館

編組品ってなに？

編組品は、竹や草、樹皮、つるなどの植物を編んで形作られたもののことです。農具や運搬具、台所用品など、かつては暮らしの必需品でした。

しかし現在では、プラスチックなどの様々な代替品が手軽に入手できるようになり、編組品はあまり見かけなくなりました。本展示では、失われつつある編組品の価値を再確認し、そして風土に育まれた手仕事の技と美の魅力に迫ります。

秋田の編組品

植生や素材調達、職人など、条件がそろった地域では編組品が盛んに製作され、集団的産地がうまれました。

昭和30年代には、鹿角市草木、鹿角市花輪、横手市金沢、秋田市金足、美郷町六郷、由利本荘市岩城、由利本荘市鳥海猿倉の地域において、盛んに編組品が製作されていたことがわかっています。脈々と受け継がれた知恵と文化は、地域の財産といえます。

全国各地の編組品

東北から北陸、更に西日本まで、全国各地の編組品についてご紹介します。植生による素材選択と、技術の関係性から各地域の特色について探ります。



福島県三島町のザル

宮城県岩出山のザル

大分県別府のザル

鹿角のギブスザル

金足浦山のザル

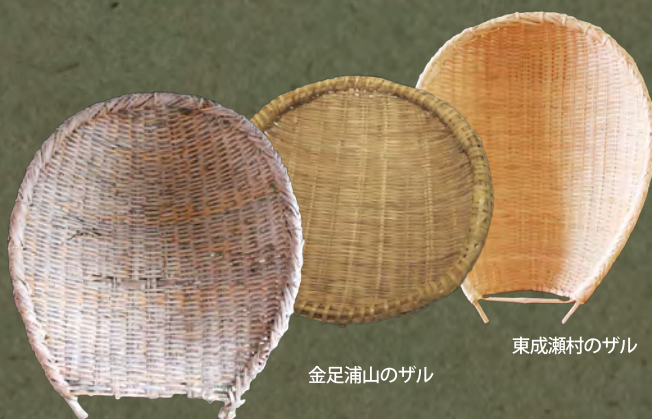
東成瀬村のザル



ヤマブドウ



ミツバアケビ



あけびづる細工職人 中川原信一氏

展示関連イベント（詳細はHPを参照）

■講演

「縄文時代から続く植物利用
—暮らしの中の編組—」

12月16日（土）10:00～11:30

講師：佐々木由香氏

（明治大学黒曜石研究センター/パレオ・ラボ）

参加費無料・事前申し込み要

■ワークショップ

「古に学ぶ
—縄文時代の編組技術—」

12月16日（土）12:30～15:30

講師：中川原信一氏（バスケットリー作家）

参加費無料・事前申し込み要

■ギャラリートーク

12月2日（土）・10日（日）

1月14日（日）・27日（土）

2月3日（土）・17日（土）

3月4日（日）・24日（土）

14:00～15:00 事前申し込み不要

■ワークショップ

「金足浦山の竹細工から学ぶ」

1月21日（日）10:00～15:30

講師：浦山竹葉会

参加費無料・事前申し込み要

■講義&ワークショップ

「ヤマブドウのつるで編む」

2月11日（日）10:00～15:30

講師：齊藤洋子（当館学芸主事）

参加費無料・事前申し込み要

■講義&ワークショップ

「オニグルミの樹皮で編む」

2月25日（日）10:00～15:30

講師：齊藤洋子（当館学芸主事）

参加費無料・事前申し込み要

■講演

「編組品にみる暮らしの造形」

3月10日（土）10:30～12:00

講師：工藤員功氏

（柏市文化財保護委員/元武蔵野美術大学民俗資料室専門員）

参加費無料・事前申し込み要

■喫茶 DE 対談

「編組品から読み解く知恵と文化」

3月18日（日）10:00～11:30

話者：中川原信一氏（あけびづる細工職人）

× 伊藤征一郎氏（カゴアミドリ）

進行：齊藤洋子（当館学芸主事）

参加費300円（コーヒーデザート付き）

事前申し込み要

■実演

「伝統の技と美～中川原信一氏による
あけびづる細工～」

3月18日（日）12:30～15:30

参加費無料・事前申し込み不要